

特別の教育課程編成について（英語活動の実施）

1 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

小学校第1学年と第2学年では、「生活科」の時間、35（1年生は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案） ※令和3年度版

区分	各教科										特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作DVD『OK English(約8分のDVD)』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。DVDの内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともにDVDを繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

【資料2】OK English

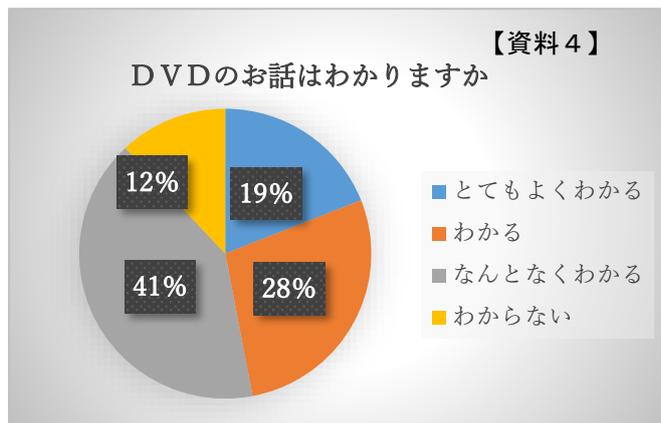
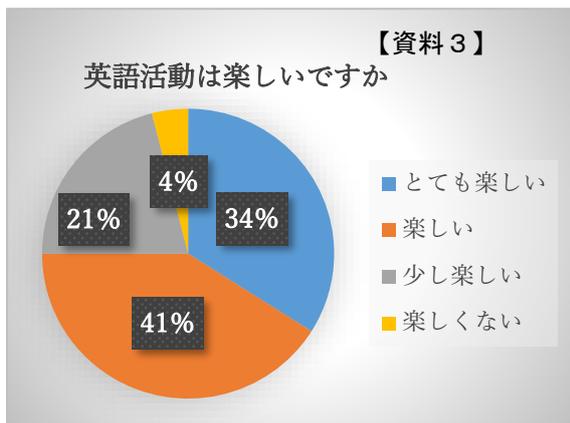


2 本校の取組

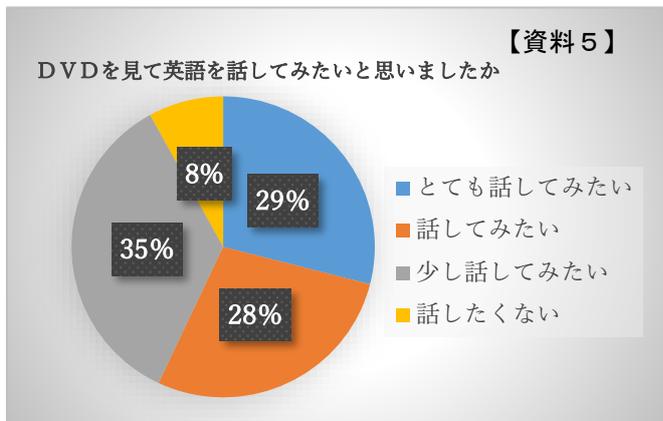
矢作西小学校では、1年生から4年生まで、毎日13時35分から13時45分を「英語活動」の時間としています。児童は担任と共に、DVDに合わせて楽しく活動しています。1つのユニットを1週間学習します。

3 成果

令和3年度1年生から4年生の児童にアンケートを行ったところ、「英語活動が楽しいですか。」という質問に対し、「とても楽しい」、「楽しい」と回答した児童は、全体の75%でした。また、「DVDのお話はわかりますか。」という質問に、「とてもよくわかる」、「わかる」、「なんとなくわかる」と回答した児童は、全体の88%でした。このことから、児童は毎日10分間の英語活動に親しみ、継続して行うことにより英語力が身につくと言えそうです。



また、毎日10分継続して、英語に親しむことにより、自分も英語が話せるようになりたい、外国の人と話ができるようになりたいと思うようになった児童もいました。



「とても話してみたい」「話してみたい」と答えた児童の中には「外国の人が日本で困っていたら、助けてあげたいから」（4年生）や「外国の人と話をする、いろいろなことがわかって楽しそうだから」（3年生）、「DVDの英語が少しわかってきて話してみたい」（1年生）など、DVDに登場するALTの先生の言動や活動に興味をもって視聴する児童も多くいました。

4 まとめ

資料4から、毎日英語に親しむことにより、児童は英語で話されている内容を理解することができるようになっていきます。しかし、学年が上がるごとに、「とてもよくわかる」「わかる」の比率がやや下がり、DVD視聴だけではなく、視聴後に教師と児童が英語のフレーズを声を出して復習したり、英語で会話したりするなどの工夫が必要であると感じました。

今後、コロナの心配がなくなれば、DVD視聴だけにとどまらず、帯の時間を利用し、DVDで覚えた英単語、英会話を使って、他学年と交流するなど、実際に英語を使った体験活動を試みたいと考えています。